

東屋

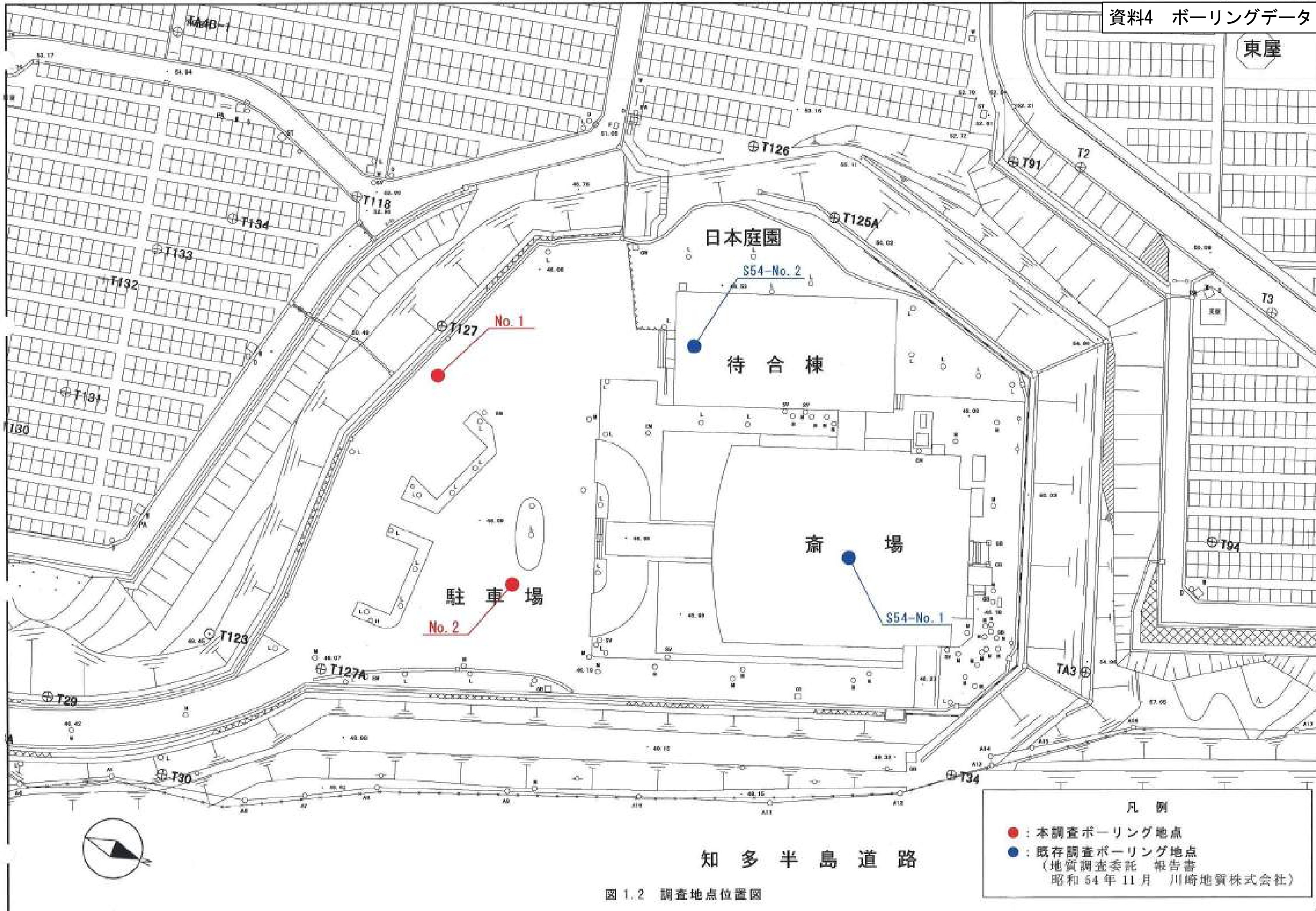


図 1.2 調査地点位置図

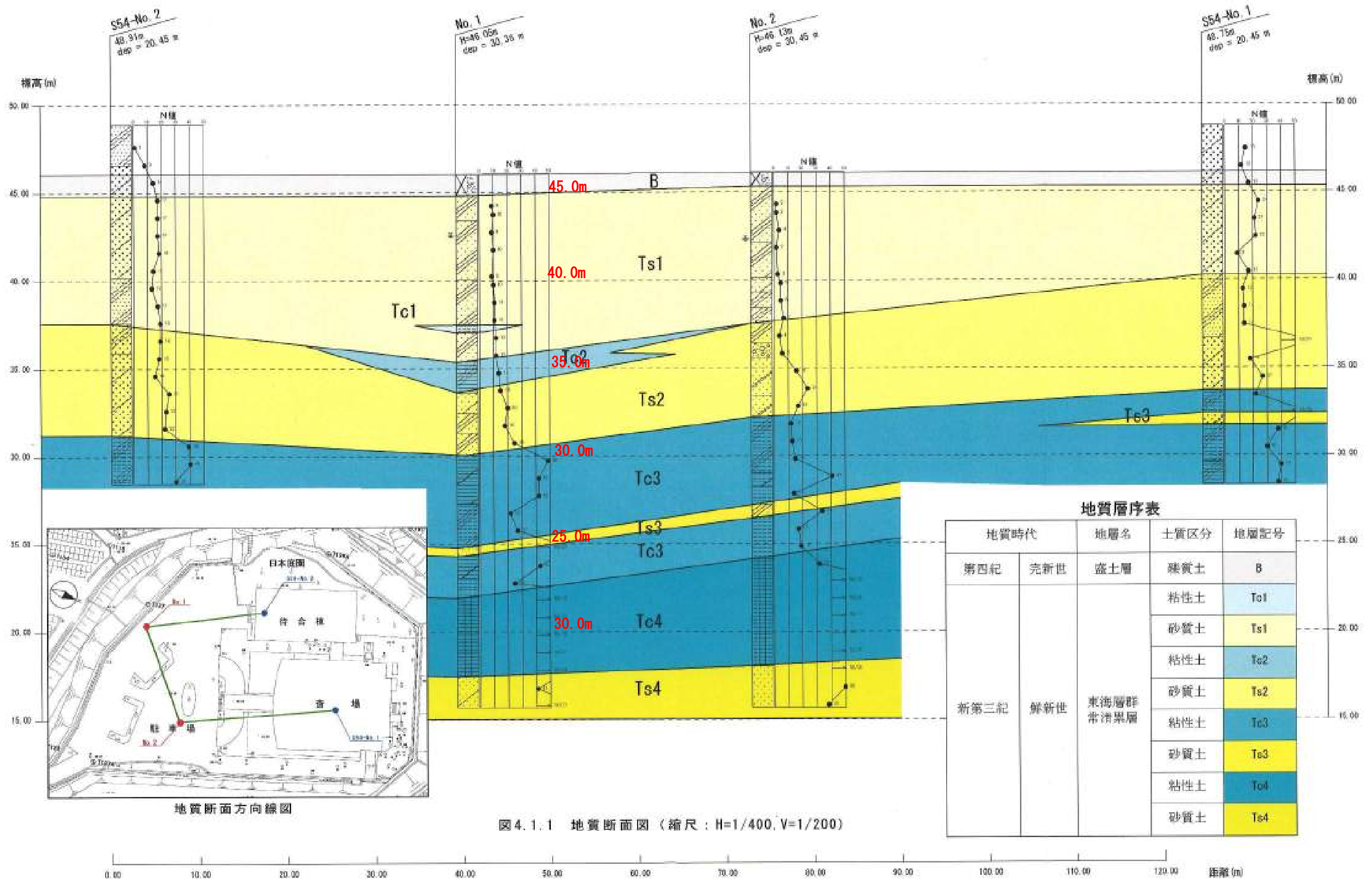


圖 4.1.1 地質断面圖 (縮尺: H=1/400, V=1/200)

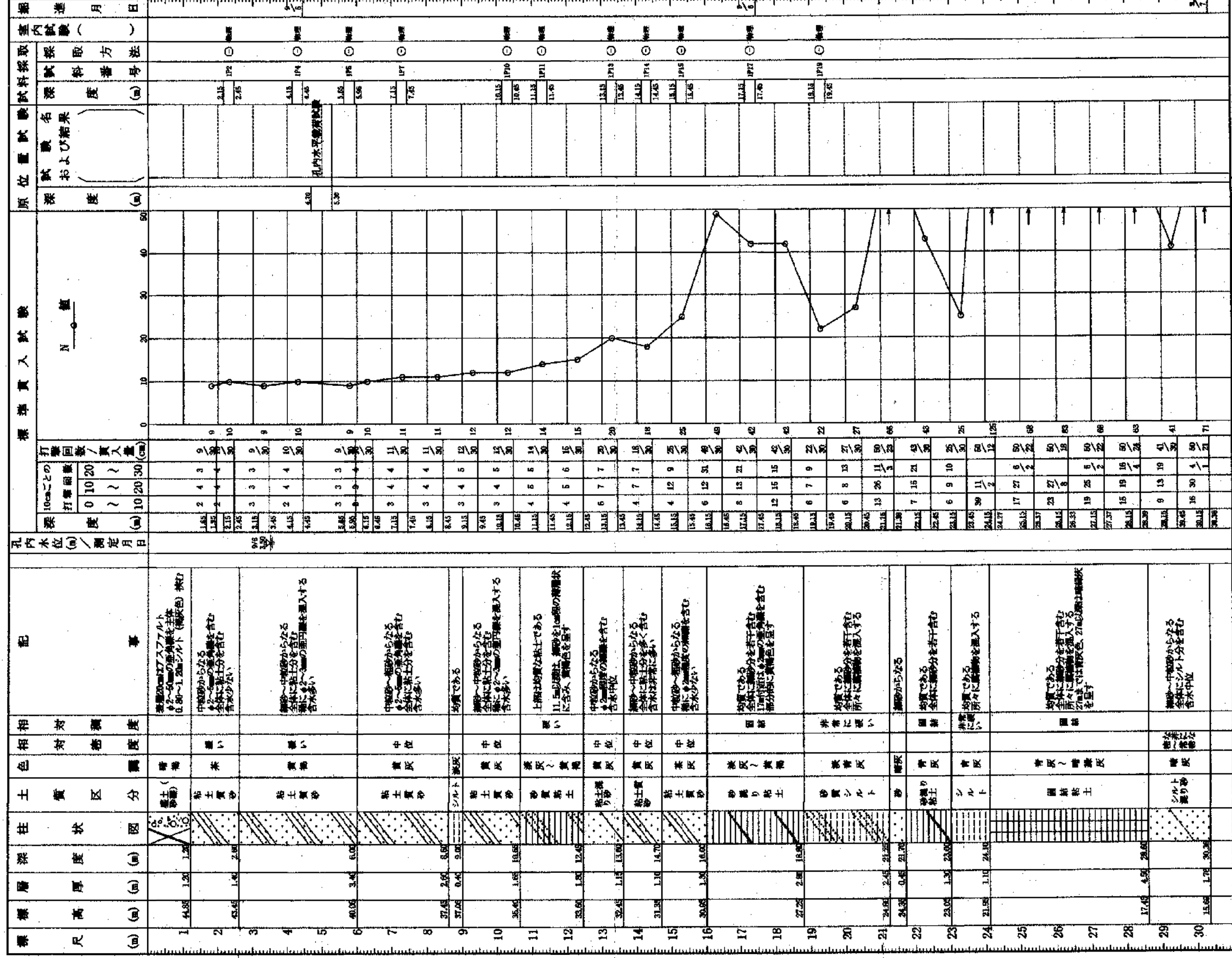
# ボーリング柱状図

調査名 地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo

ボーリング名	No. 1		調査位置	大府市桜木町 知北斎場内		シートNo	北 緯 34° 58' 43.93"	
発注機関	知北平和公園組合		調査期間	平成 28年 9月 5日 ~ 28年 9月 7日		東 経	136° 55' 25.82"	
調査業者名	川崎地質(株) 中部支社 電話 (052-775-6653)		主任技師	田中英之 田中英之		ボーリング責任者	日南 元章	
孔口標高	H=46.05m	方位	北 0°	東 90°	西 270°	ハンマー	半自動落下式	
総掘進長	30.36m	傾斜	0°	0°	0°	エンジン	NFD-10	



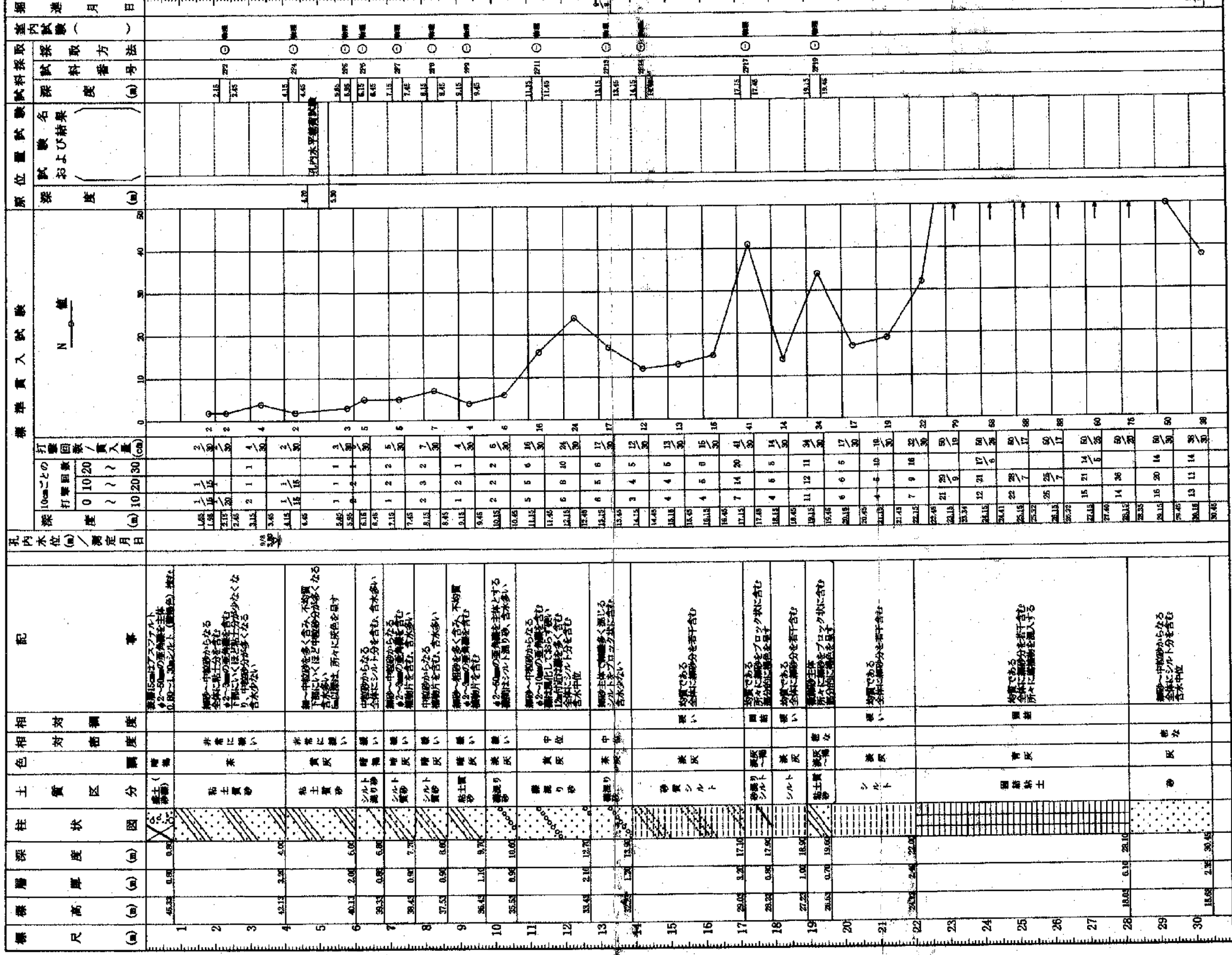
# ボーリング柱状図

調査名 地質調査業務

事業・工事名

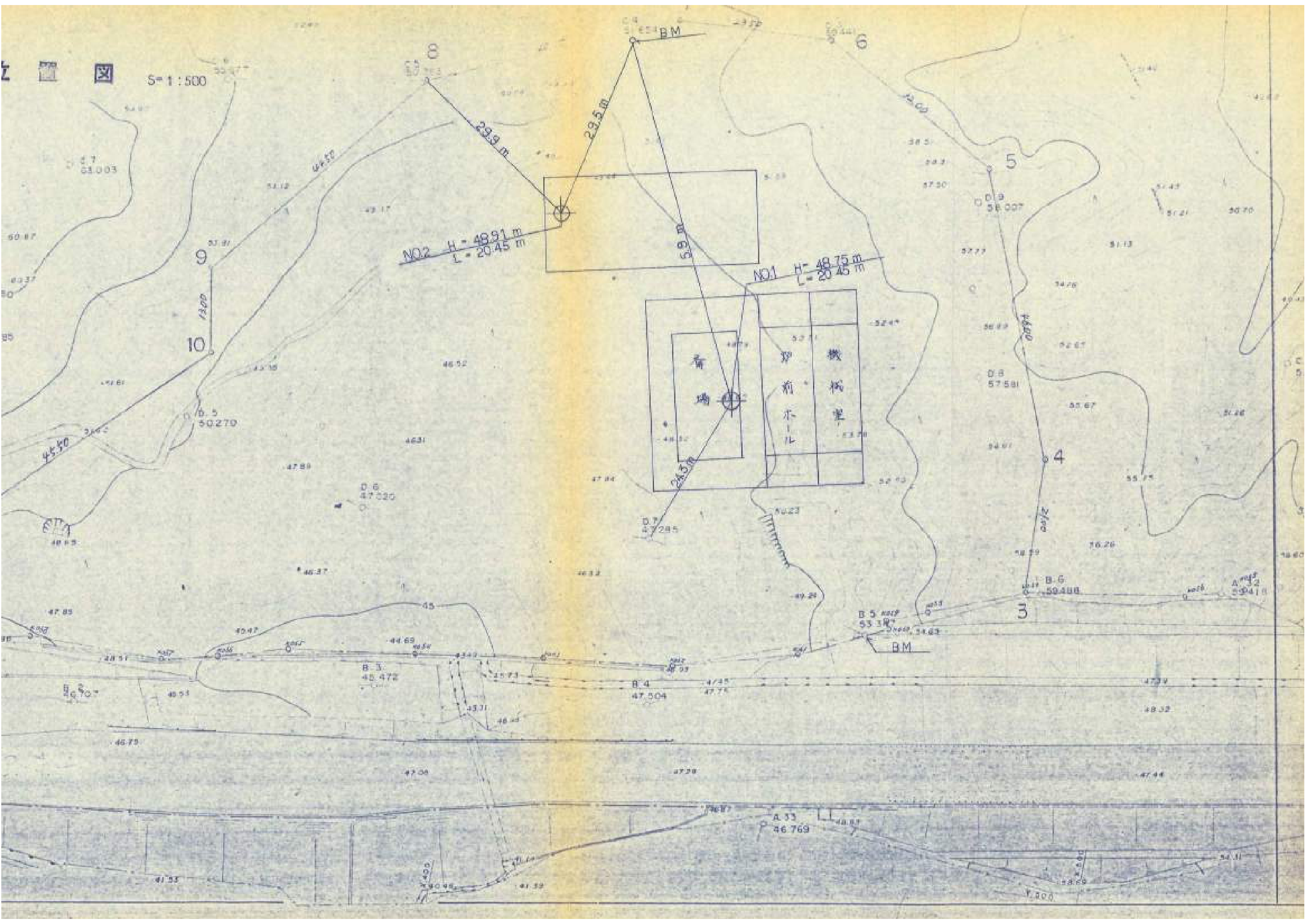
ボーリングNo.

ボーリング名	No. 2		調査位置	大府市桜木町 知北斎場内	
発注機関	知北平和公園組合		調査期間	平成 28年 9月 8日 ~ 28年 9月 10日	
調査業者名	川崎測量(株) 中部支社 電話(062-775-6653)	主任技師	田中英之	コアア 確定者	田中英之
孔口標高	46.13m	方位	北	ハンマー 落下器具	日南 元章
総掘進長	30.45m	傾斜	90°	エンジン	NFD-10
		傾斜	0°	ポンプ	V-6



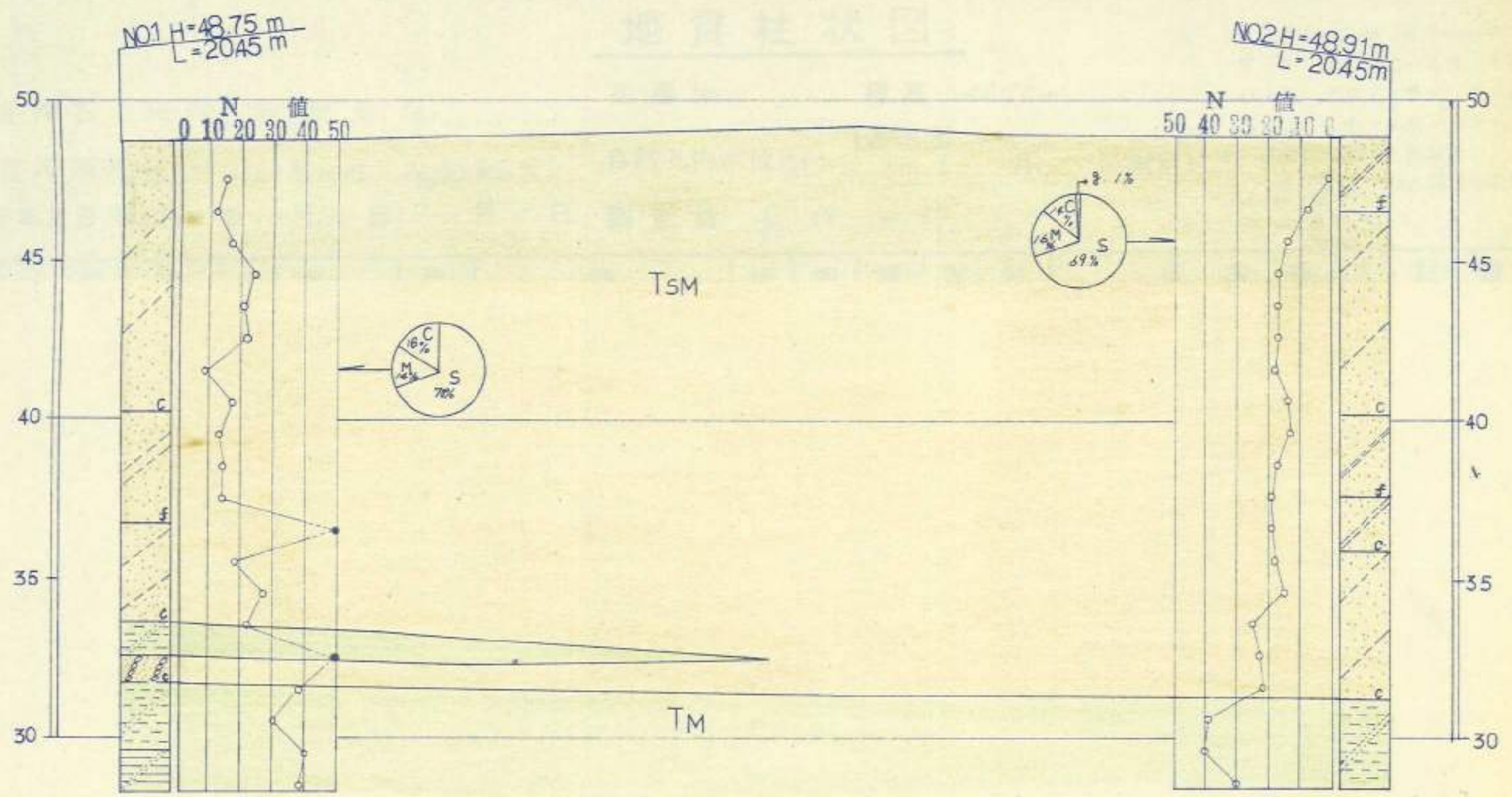


S=1:500





地質推定断面図 (縦横 1/200)



TSM: 単層累層砂質土層 (細粒分心より粒径不均一で全線にわたる砂層)  
 TM: 単層累層粘性土層 (火山灰質と至る砂質シルト。硬質である)

# 地質柱状図

調査件名 地盤調査

孔番 No. / 標高 42.75 m

調査場所 愛媛県大原町

自然孔内水位 GL 42.75 m (基準面)

調査年月日 昭和54年11月20日

日測定

調査員 長野 二郎

(注) 1. 異なる試料 (記号の右の数字は試料番号)

- T-1 シンサンソールサンプラーによる採取
- D-2 アンサンサンプラーによる採取
- S-3 スチールサンプラーによる採取

2. 試料採取深度と回数は  
 4.00 45/50  
 4.50 45/50  
 1.50

標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	試料		標準貫入試験			尺 m
										採取記号	採取深度 m	深度 m	N 値 回/30cm	10cm毎の 打撃回数 回/30cm	
42.75	0.00					粘土層上部	中程		1			10	10	0	
42.75	0.20	0.20			赤灰	粘土層上部 含水量少			2			10	10	1	
42.75	0.40	0.20				粘土層上部 含水量少			3			10	10	2	
42.75	0.60	0.20				粘土層上部 含水量少			4			10	10	3	
42.75	0.80	0.20				粘土層上部 含水量少			5			10	10	4	
42.75	1.00	0.20				粘土層上部 含水量少			6			10	10	5	
42.75	1.20	0.20				粘土層上部 含水量少			7			10	10	6	
42.75	1.40	0.20				粘土層上部 含水量少			8			10	10	7	
42.75	1.60	0.20				粘土層上部 含水量少			9			10	10	8	
42.75	1.80	0.20				粘土層上部 含水量少			10			10	10	9	
42.75	2.00	0.20				粘土層上部 含水量少			11			10	10	10	
42.75	2.20	0.20				粘土層上部 含水量少			12			10	10	11	
42.75	2.40	0.20				粘土層上部 含水量少			13			10	10	12	
42.75	2.60	0.20				粘土層上部 含水量少			14			10	10	13	
42.75	2.80	0.20				粘土層上部 含水量少			15			10	10	14	
42.75	3.00	0.20				粘土層上部 含水量少			16			10	10	15	
42.75	3.20	0.20				粘土層上部 含水量少			17			10	10	16	
42.75	3.40	0.20				粘土層上部 含水量少			18			10	10	17	
42.75	3.60	0.20				粘土層上部 含水量少			19			10	10	18	
42.75	3.80	0.20				粘土層上部 含水量少			20			10	10	19	
42.75	4.00	0.20				粘土層上部 含水量少			21			10	10	20	



### 地質柱状図

調査件名 地質調査委託 標高 47.97 m  
 調査場所 東京都中央区新富町 自然孔内水位GL 47.97 m (基準面)  
 調査年月日 昭和34年11月20日 調査員 倉田昇 日測定

(注) 1. 凡さない試料 (記号の右の数字は試料番号)  
 T-1 シンワオールセンプレーによる採取  
 D-2 デンソウセンプレーによる採取  
 S-3 スチールセンプレーによる採取  
 2. 試料採取深度と相対比  
 1.00  
 45/50  
 4.50

標高 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	試料		標準貫入試験		尺 m
									採取記号	採取深度 m	深度 m	N 値 回/30cm	
48.97	0.00				非常な軟弱								0
48.60	0.30		シルト質細砂	黄灰	上部中細砂状	中		1		0.25	1	1	1
48.30	0.30		シルト質粗砂	黄灰	4cm ~ 下部粒子粗い 全体に粗粒不均一	中		2		0.45	2	2	2
48.00	0.30		シルト質粗砂	黄灰	若干粘着帯あり	中		3		0.65	3	3	3
47.70	0.30		シルト質粗砂	黄灰	下部含水分多い	中		4		0.85	4	4	4
47.40	0.30		シルト質粗砂	黄灰	下部近含水多し 微細砂質 細粒介多し	中		5		1.05	5	5	5
47.10	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			6		1.25	6	6	6
46.80	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			7		1.45	7	7	7
46.50	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			8		1.65	8	8	8
46.20	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			9		1.85	9	9	9
45.90	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			10		2.05	10	10	10
45.60	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			11		2.25	11	11	11
45.30	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			12		2.45	12	12	12
45.00	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			13		2.65	13	13	13
44.70	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			14		2.85	14	14	14
44.40	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			15		3.05	15	15	15
44.10	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			16		3.25	16	16	16
43.80	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			17		3.45	17	17	17
43.50	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			18		3.65	18	18	18
43.20	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			19		3.85	19	19	19
42.90	0.30		シルト質粗砂	黄灰	中			20		4.05	20	20	20

